

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [金沢市立小坂小学校] 担当教諭名 [長谷川 純] (6年1組 31名)

交流相手国 [ロシア]

海外学校名 [School 1471] 担当教諭名 [Anna Kostikova]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界の人と関わりながら生き方を考えよう	30
	英語	Unit.4 Our town	2

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	環境を守る
絵に込めたメッセージ	フォーラムでテーマを環境にしたので、環境について考えた。児童から日本には四季があるということだったので、春と秋を担当し、ロシアの児童には夏と冬をお願いした。また、各季節の絵の中に環境問題についての挿絵を入れて環境を守ろうというメッセージにした。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ電話を使って交流ができた。 ・どうにかして伝えたいという気持ちで説明することができた。 ・英語ができるという人となつなされることを実感できた。 ・海外の国に興味を持ち、日本とは全く違う文化を学ぶことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ電話が 1 回だけだったので、教師がもっと働きかければよかった。 ・テレビ電話の映像がきれいに見えなかった。 ・絵を描くとき、全員が参加したものの、半分以上は絵が好きという固定メンバーになってしまった。 ・プレゼントは何を贈ればいいのかかなり迷ってしまった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアという国に対して興味を持った。社会で世界一の領土であることは知っていたが、モスクワの位置や学校の様子が全く違っていったことなど、知らないことばかりだと気付いていた ・テレビ電話で思ったように話せない、言葉を理解できないことから、英語の必要性を実感していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ電話で交流した効果は大きかった。なかなか理解してもらえない相手にどうやって伝えるか工夫していたことにびっくりした。 ・ロシアの方からいろんなものをいただいたので、DVD やお菓子など、調べてもなかなか見えてこないところまで知ることができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	自己紹介を書いた紙に写真を貼り、フォーラムで交流をした。自己紹介には自分の名前の他、英語の授業で学んだ2文を選んで書いた。	英文に苦戦しながらも、一生懸命書いていた。ちゃんと伝わるのかを心配していたが、返事がきたときはうれしそうにしていた。	総合
テーマ学習	7月～12月	7月にまず、相手国のことを調べた。11月はテレビ会議のために、キャラクターや学校の様子を伝える練習を何度もした。12月はクリスマスカードを作成した。	テレビ会議では、自分の紹介したキャラクターを知っているとわかると大きな歓声があがった。簡単な英語でも相手に伝わると、通じたことを本当に喜んでいていた。	総合 英語
構図決定	10月 11月	フォーラムで相手国が考えてくれた案からテーマを決めた。テーマに沿った絵になるようにアイデアを出し合った。	決定したテーマに合わせて、描きたいものについてのアイデアを集めた。	総合
壁画制作	12月	グループに分かれて、下絵、色塗りを分担。	春と秋を分かってもらうためにどんなものを描けばいいか考えながら下絵をしていった。なるべく日本で普通にある風景にしようとした。	総合
鑑賞・振り返り	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> 作品と共に記念撮影。 学級で、振り返りを発表。 フォーラムで相手国に報告。 	壁画が戻ってきたことにとっても喜んでいて、自分達の考えをくみ取り、ロシアの児童が絵をつなげて描いてくれたことに盛り上がっていた。	総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	日本特有の文化が多いことに気が付いた。アニメ、学校、地域、気候と自分では当たり前のことが違うと気付くことができた。
異文化の理解	A	4	最初は世界一の領土ということくらいしか分からなかった。学校や環境、キャラクター、言葉などたくさんのことを理解できた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	テレビ電話では、なんとかして相手に伝えようと工夫した。つたない英語でも身振り手振りで伝えることも気付けた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	限られた情報から調べるとみんな同じような内容のまとめになってしまうことに課題が残った。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	小集団で活動する機会が多く、たくさんのグループで活動することができた。交流相手のことも考えることができた。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	壁画作成は少しずつ絵のテーマに沿ってみんなが教え合いながら完成させることができた。
学習を追究する意欲	B	4	テレビ会議で知ったキャラクターやロシアの建造物などを自学ノートにまとめてくる児童がたくさんいた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	3	日本の自然をテーマに沿って描くことができた。日本特有のものをどう描けばいいか考えて絵に表した。
作品を鑑賞する力	B	3	ロシアから届いた絵を見て、自分達が描いたところにつなげて描いてくれたこと、両国の国旗を入れてくれたことを喜んでいていた。